

# 《第18回 春の縄文野焼き祭り》

## ● 縄文野焼き祭りとは？

縄文土器や土偶に生命豊かな大自然への祈りをこめて造形した縄文人たち。それはまるで今の世の私たちに語りかける、未来を拓くメッセージ。窯を使わずに天と地、太陽と風と火の力によって焼き上げる縄文野焼きで、館の陶芸教室生や法曾焼同好会員の作品を焼成します。あぶり焼きから徐々に火を育て、炎が最高潮に燃え上がる時、力強く躍動する生命が作品に宿る感動の瞬間を迎えます。

## ～春の野辺に遊ぶ～

山はやわらかな春色に彩られ、山桜や薄紫のツツジが満開。シロバナタンポポが畔道に可憐な姿をのぞかせています。いのちの春！ 風小僧もやんちゃに走り回る。雷小僧はまだ控えていてね。野外で縄文の炎をかこんで、生命萌える縄文の心に触れてみませんか？ どうぞお誘い合わせのうえお越しください。

## 《縄文体験コーナー》

### ● 縄文土器で煮炊きをしよう！

昔、縄文土器は煮炊き用の鍋として使われていました。土器を大地にすえて水と肉・野菜を入れ、そのまわりに薪をつんで燃やして汁物をつくります。みんなで野生的な味わいを堪能しよう！

□ (12時頃～/無料)

### ● 粘土でつくろう！

縄文粘土で土偶やまが玉など、思い思いの発想であなただけの作品を。

□ (随時/300円)

## 《販売コーナー》

地元の法曾焼同好会が、昼食やお飲み物のほか、法曾焼茶碗や法曾茶を販売いたします。どうぞご利用ください。

### ● 石でまが玉をつくろう！

まが玉は生命の根源のかたち。しあわせを祈り魔を祓う力が宿っています。

□ (随時/黒・ピンク・白各500円)

### ● 館内案内

猪風来美術館の展示もこの機会にぜひご覧ください。常設展「生命のシリーズ」「黒潮の海」をはじめ猪風来の野焼き作品や縄文陶磁作品、企画展「タペストリー展・海いのちの鐘がなる」(手紡ぎ草木染め手織り作品)など、縄文文様の躍動する作品世界が広がっています。(観覧料が必要です)

■日時 2014年4月27日(日) AM9時～PM4時 ※雨天時29日

■会場 猪風来美術館前広場

入場無料(館内は観覧料が必要です)

■主催 猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)・法曾焼同好会

■お問い合わせ先 猪風来美術館 TEL・FAX 0867-75-2444  
〒719-2552 岡山県新見市法曾 609

## 《いのりの土偶づくり》

先の東日本大震災の震災地への思いや気持ちをこめた「縄文いのりの土偶」づくりを、毎年有志の方々へ呼びかけております。再起を期して心を奮い立たせている被災者の皆様への応援の気持ちを土偶にこめて、思いをつなげていきたいと思っております。

□ (随時/300円)

※ 参加費は全額復興義援金として寄付いたします

※ 制作された「いのりの土偶」のご寄付をお願いします



**猪風来美術館**  
新見市法曾陶芸館  
<http://www.ifurai.jp/>

### ■アクセス

岡山から車で約90分  
岡山空港から車で約70分  
賀陽ICから車で約45分  
新見ICから車で約30分  
井倉駅からタクシーで約15分  
方谷駅からタクシーで約10分